

2005 年度受賞作

smt（グランプリ）賞



ランテルディ II

村岡 由梨

審査のとき偶然一番初めにこの作品を見たが、すばらしい「出会い」だった。
ドイツ抽象主義を思わせたり、抽象画や具象画が混ざったりと混沌とした中に、自分の世界を確立している、音楽的作品。（飯沢耕太郎）

自分の好きな世界観に作者自らが入り込みたい、という思いが感じられる点が面白いし、実際に作品の世界に入り込んでいることで徹底的にクオリティを上げている。（田中秀幸）

「ワオ！ 20 世紀」な古い手法と、少し汚れめな映像の組み合わせが美しく、作者の美学がある。
画面の向こう側が見えて美しかった。現実を超えて下さい。（明和電機）

至福のとき

2005